

国際交流員ダニエルの

## KANGA KOURYUU

カンガ交流



### 聖地に思いを馳せて②

広報おかがき 12月号のカンガ交流で、オーストラリアの世界遺産「ウルル(エアーズ・ロック)」を紹介しました。今回はオーストラリアの先住民族のアボリジニに伝わる神話の一つ「ウルルの誕生」を紹介したいと思います。

#### 先住民族の特別な場所「ウルル」

アボリジニにとって、ウルルは「祖先の霊」が眠る場所であるため、岩が生きていることを信じています。そのため、アボリジニにとってウルルと近隣のオルガ(巨大な岩群)はとても重要な遺産で、ウルルは神殿としても使われています。また、オーストラリアにはアボリジニが信仰する創造主が大地を創ったとされる多くの神話があります。特にウルルとオルガは印象的な風景であり、聖地でもあるため、アボリジニの神話にはよく登場します。



▲近くから見たウルル

#### ブーメランが握る聖地誕生のカギ

アボリジニには複数の部族があり、それぞれの言い伝えが異なっています。ここでは、とある部族の言い伝えを一つ紹介します。

大地が創られたはるか大昔、トカゲ男の勇敢な戦士「アリンガ」がいました。アリンガは神秘的な力を持っていて、彼が得意な武器であるブーメランを投げると、何日も戻って来ないほどでした。ある日、アリンガはとても大きなブーメランを作り、投げてから戻ってくる

## オージー・スラング・タイム

オーストラリアのスラングを学ぼう



### "Cooee"

読み方 「クー・ウィー」

意味 「ここに来て!・ここにいるよ!・今だ! など」

「Cooee」はオーストラリアの先住民族アボリジニの言葉で、命令や注目を引くための叫び声のことです。1790年にイギリスの海兵が「Cooee!」の叫び声を初めて聴いた時、アボリジニに意味と使い方を聞いて、だんだん使うようになりました。「Cooee」は、歌の歌詞になったり、兵隊募集のチラシに使われたりもしました。

ちなみに、日本でやまびこを聞くとときに言う「ヤッホー」も、オーストラリアでは「Cooee」と言います。

までに何日かかるのかを試そうと、全力で投げてみました。しかし何日、何カ月、何年たっても戻ってこないため、ブーメランを探す旅に出ました。

長い旅をしていると、赤くて丸い、とてつもなく大きな一枚岩にたどり着きました。それが自分のブーメランであることに気付いたアリンガは大喜び。地面に突き刺さったブーメランには、長い時間をかけて赤い土と砂が積みもり、大きな岩になっていたのです。アリンガはブーメランを引き抜くことはできませんでしたが、大事なブーメランから離れたくない彼は、岩のふもとで暮らすことにしました。

ウルルにある多くの隙間や洞穴は、ブーメランを引き抜くときにアリンガの指が食い込んだ部分であるといわれています。また、洞穴に住むトカゲは、アリンガを敬ったトカゲの子孫であると信じられています。

みなさん、どうでしたか。他にも巨大な蛇の戦いの話や野ウサギの話など、ウルルには面白い神話がたくさんあります。興味がある人は、ぜひ調べてみてください。

## みんなでおいしく食べました

—「ミートパイ料理教室」—

中央公民館で「ミートパイ料理教室」を催し、小学生から大人まで15人が参加しました。当日は生地から作る本格的なミートパイを、みんなで協力して作りました。また、余ったパイ生地で作成に挑戦するなど、思い

思いのパイ作りを楽しみました。

最後には全員でトマトグレービーソースをかけて、あつあつのミートパイを食べました。これからも楽しいイベントを企画しますので、ぜひ参加してください。



▲参加してくれた皆さん、ありがとうございました